

---

# 真実の言葉。

yu

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真実の言葉。

### 【Nコード】

N7557A

### 【作者名】

yu

### 【あらすじ】

コナンは、解毒剤を飲んで新一の姿となり、豪華客船に乗った。するとそこに新一の姿をしたキッドが現れ…。

ある日。

「豪華客船の旅？」

「そつ！蘭とガキンチョとおじさん、一緒に行かない？」

園子が言う所によると、チケットが余ったらしい。

「うん。その日は予定ないから。」

「よかった！じゃあ私、用事あるから、また明日ね！」

「うん、バイバイ！」

「豪華客船の旅か……」

「どうしたの、蘭姉ちゃん。」

「そうだ、今度船乗らない？本当は新一と乗りたいんだけど……」

「…僕、用事あるから行けない。ゴメンね。」それから俺は、博士の家に直行した。

「なに？解毒剤が欲しいじゃと!？」

「今度船に……」

「わかったわ。貴方は反発しても聞かないから……」  
と言つて、解毒剤を渡す。

「サンキュ な、灰原！」

「無理はしないでね。」

「分かってるよ。」

そして、毛利探偵事務所に戻った。

「ねえ蘭姉ちゃん、あのチケットちょうだい！」

「えっ? いいけど……」

「ありがとう！」

そして、当日……

「うわあ〜! 大きい！」

「来てよかったでしょ、蘭。」

「うん！」

客船に乗ると…

「すごい！」

「ねえ、あれってもしかして…新一君!？」

「嘘…新一!」

新一がこつちを振り向いた。

「蘭!」

「どうしてここに?」

「え?あ、あのメガネのぼうずに呼ばれたんだよ!」

(コナン君…)

「それより新一君、双子だったの?」

「えっ?」

この場にいた全員が、目を疑った。

「新一(君)が二人イ〜?」

「ねえ蘭、どっちが本物?」

「たぶん…最初に会った方。」

「お前もしかして…怪盗キッド!？」

最初に来た新一が言う。

「その通りですよ、名探偵。」

後で来た新一が言う。会場が騒然とした。

「なぜここにいる!今日は盗む物はないはずだが?」

「名探偵が、元の姿に戻ったのかと思ってさ。」

「俺はまだ完璧に戻ってないぜ?あと何日かしたら、またコナンに

戻る。」

「…ちよつと…新一(君)?」

「え?」

「どういうことか説明しなさいよ!」

「あの、だから、これはだな…。」

俺は仕方ないから、蘭と園子だけに事情を説明した。

「そんなことが…」

「なんだ、新一君も結構悲しんでるんじゃない。」

「でも、真実話してくれてよかったよ。新一。」

「ああ。」

船の中で聞いた本当の真実。それは、私の心の中に、ずっと残り続ける…。

(後書き)

初めて書きました。

後で見ると、なんか小説じゃない気がします……。すみません。  
今度からはちゃんと書きますので、よろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7557a/>

---

真実の言葉。

2011年10月3日11時30分発行